

小学校 第5学年	題材名	ことに親しもう「さくらさくら」初級		
	教材名	「さくらさくら」初級（日本古謡、編曲：長谷川慎）	時間	4 時間

■教材の目標

箏という楽器に関心を持ち、箏の基本的奏法を身につけた上で、音色や旋律の美しさ・速度・間といった特徴を感じながら「さくらさくら」の曲想に合った表現を工夫して演奏する。また、唱歌を歌うことにより箏曲の伝統的な学習法を知り、音の高さやリズムだけでなく、箏の音色や奏法・フレーズ感・間といった特徴についてより深い理解し、楽しみながら日本の伝統音楽に親しむよう促すことがねらいである。

■学習指導要領との関連

A 表現 (1) 歌唱 イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。

(2) 器楽 イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。

ウ 楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。

B 鑑賞 (1) ア 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。

【共通事項】音色、リズム、速度、旋律、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

■教材観

「さくらさくら」初級（日本古謡、編曲：長谷川慎）

日本で古くから親しまれてきた歌で、明治21年に出版された箏の練習曲集「箏曲集」に掲載され広く知られるようになった。小学校第4学年の歌唱共通教材としても取り扱われており、箏の代表的な調弦である平調子で日本らしい美しい旋律を味わうことのできる曲である。第七弦から弾き始め、隣り合う弦を右手の親指だけで順に弾けば無理なく演奏できるようになっており、初めて箏に触れる児童でも取り組みやすい教材である。また、「さくらさくら」の唱歌には、裏間を感じたり、「コロリン」といった奏法を表したものも含まれており、箏らしい弾き方を児童が感覚的につかみながら、箏に親しむことも期待できる。

■ヤマハデジタル音楽教材「箏授業」を使用した指導計画（4 時間）

学習内容		めあて	指導上の留意事項
第一時	■「さくらさくら」を歌唱する。 ■箏の演奏を鑑賞する。 ■箏の基本的な知識について学ぶ。 ■「さくらさくら」の唱歌を歌う。	ことの演奏をきいて、日本の伝統音楽の特徴を学ぼう	・ヤマハデジタル音楽教材「箏授業」（以下「デジタル教材」と記載）の箏の演奏に合わせて、「さくらさくら」を歌唱させる。 ・デジタル教材を使用し「荒城の月」を鑑賞させ、箏の音色や箏曲の特徴を感じ取らせるとともに、箏への興味関心を喚起させる。 ・デジタル教材を提示しながら箏の各部の名称について学習させる。 ・デジタル教材で唱歌について学習させ、実際に「さくらさくら」の唱歌を歌わせる。
第二時	■箏を演奏するために必要な基礎を学ぶ。 ■「さくらさくら」の初めの4小節を演奏する。	ことを演奏するための基礎知識を学ぼう	・デジタル教材を提示しながら楽譜の読み方について学習させる。 ・デジタル教材で爪のはめ方を学習させる。 ・箏を演奏するために必要な座り方・構え方をデジタル教材で学習させる。 ・箏の基本的な奏法をデジタル教材で学習させ、「さくらさくら」の初めの4小節を弾かせる。
第三時	■「さくらさくら」の残りの部分を演奏する。 ■「さくらさくら」を1曲通して演奏する。	ことの音色を意識して「さくらさくら」を通して弾いてみよう	・「さくらさくら」の残りの部分をデジタル教材で学習させ、演奏を通じて「コロリン」について学習させる。 ・大型モニターにデジタル教材を映し、「さくらさくら」を1曲通して弾かせることで、曲の全体感をつかませるとともに苦手箇所を意識させる。 ・各自のタブレット端末でデジタル教材を見ながら自分の苦手箇所を練習させる。

第四時	■より良い音色を出すために表現の工夫をする。 ■「さくらさくら」の演奏を各グループで聴き合い評価し合う。	より良い音色やひびきを出すための工夫^{くふう}をしながら、「さくらさくら」を演奏^{えんそう}しよう	・デジタル教材で「さくらさくら」の模範演奏を鑑賞させ、自分の演奏との違いに気付かせる。 ・模範演奏のような筈らしい音色に近づけるために、個人練習を通じて表現の工夫をさせる。必要に応じて、各自のタブレット端末でデジタル教材を参照させる。 ・各グループで「さくらさくら」を通して演奏させ、聴き合い相互評価させる。
-----	--	--	---

■実際の指導

[教材]

「さくらさくら」初級（日本古謡、編曲：長谷川慎）

[授業スタイル]

一斉学習、個別学習又は協働学習（2～3 人に筈が一面の場合）

[使用する ICT 機器]

大型モニター、教師用 PC（もしくはタブレット端末）、ヤマハデジタル音楽教材「箏授業」

※児童用タブレット端末があると個別学習（協働学習）が可能

[主な ICT 活用とそのねらい]

- ✓ デジタル教材を使用することにより、向こう指の置き方や親指の弾き方など、従来では分かりにくかったポイントを視覚的に理解することができる。テンポが変更できるため、ゆっくりとしたテンポから徐々に速度を上げて練習することもできる。
- ✓ 大型モニターにデジタル教材を映しながら、それに合わせて児童に演奏させることにより、教師が机間を回り児童のサポートをしたり評価したりすることができる。

[展開]

第一時

- ・学習内容：箏の鑑賞を通じてその特徴を感じ取った上で、箏の基本的な知識について学ぶ。
- ・めあて：ことの演奏^{えんそう}をきいて、日本の伝統音楽^{とくちよう}の特徴を学ぼう
- ・配布物：ワークシート「ことに親しもう 1」（ファイル名：k01_sheet1）

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 45分	■「さくらさくら」を箏の演奏に合わせて歌唱する。 ■単元のめあてを確認する。 ことに親しもう「さくらさくら」初級 ■児童たちの箏に対する興味・関心や演奏経験（又は演奏を聴いた経験）を確認する。 ■本時の学習のめあてを確認する。 ことの演奏^{えんそう}をきいて、 日本の伝統音楽^{とくちよう}の特徴を学ぼう	・「さくらさくら」初級 - 1 曲通して弾いてみようの「練習」画面	★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。
展開 30分	■礼儀について学習する。 ■「荒城の月」の演奏動画を見て、音色や響き、旋律や奏法、間や速度といった箏の特徴について気付いたことをワ	・弾く前の準備 - 礼儀について ・演奏を聴いてみよう - 「荒城の月」	★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。

		ークシートに記入する。 ■ 箏の構造と各部の名称について学習し、ワークシートに記入する。 ■ 唱歌について学習する。 ■ 「さくらさくら」初級の唱歌を全員で歌ってみる。	・弾く前の準備 - 構造と各部の名称 ・弾く前の準備 - 唱歌について ・「さくらさくら」初級 - 唱歌を歌ってみよう	
ま と め 5 分		■ ワークシートに今日の授業の自己評価と感想を記入する。		

第二時

- ・ 学習内容：箏の演奏に関する基礎知識を学習し、「さくらさくら」の初めの4小節を演奏する。
- ・ めあて：ことを演奏するための基礎知識を学ぼう
- ・ 配布物：ワークシート「ことに親しもう 2」（ファイル名：k01_sheet2）

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 5 分	■ 本時の学習のめあてを確認する。 ことを演奏するための基礎知識を学ぼう ■ 復習として、「さくらさくら」初級の唱歌を歌う。		★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
45 分 展 開 35 分	■ 楽譜の読み方について学習する。 ■ 爪のはめ方について学習する。 ■ 箏を演奏するために必要な座り方・構え方を学習する。 ■ 基本の奏法を学習する。 (・時間があれば、中指の奏法についても学習する。) ・ 親指の奏法・1音ずつ ・ 親指の奏法・3音 ・ 弾く位置について	・ 「さくらさくら」初級 - 唱歌を歌ってみようの「練習」画面 ・ 弾く前の準備 - 楽譜の読み方について ・ 弾く前の準備 - 爪について ・ 弾く前の準備 - 座り方・構え方と姿勢 (・基本的な奏法 - 箏に触ってみよう 中指の奏法) ・ 基本的な奏法 - 基本の弾き方(親指の奏法・1音ずつ) ・ 基本的な奏法 - 基本の弾き方(親指の奏法・3音) ・ 基本的な奏法 - 弾く位置について	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。 ★座り方・構え方は重要なので、適宜振り返って学習するとよい。 ★充実した音色が出せるように練習させる。 ★弾く位置によって音色が変わることを意識させる。 ★一面の箏を複数の

		■「さくらさくら」初級の初めの4小節を学習する。 ・「さくら さくら」 ・「のやまもさとも」	・「さくらさくら」初級 - 「さくら さくら」 ・「さくらさくら」初級 - 「のやまもさとも」	児童で使用している場合、箏を演奏していない児童には唱歌を歌わせる。
	まとめ5分	■「さくらさくら」初級の初めの4小節を通して演奏する。 ■ワークシートに今日の授業の自己評価と課題を記入する。	・「さくらさくら」初級 - 1曲通して弾いてみようの「練習」画面（初めの4小節のみ使用）	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。

第三時

- ・学習内容：「コロリン」を意識しながら充実した音色で「さくらさくら」を通して演奏する。
- ・めあて：ことの音色を意識して、「さくらさくら」を通して弾いてみよう
- ・配布物：第二時で配布したワークシート「ことに親しもう2」を引き続き使用。

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入5分	■本時の学習のめあてを確認する。 ことの音色を意識して、 「さくらさくら」を通して弾いてみよう ■復習として「さくらさくら」初級の初めの4小節を演奏する。	・「さくらさくら」初級 - 1曲通して弾いてみようの「練習」画面（初めの4小節のみ使用）	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
45分 展開35分	■「さくらさくら」初級の残りの部分を学習する。 ・「みわたすかぎり」 ・「はなざかり」 ・「コロリン」について学習する。 ■「さくらさくら」初級をゆっくりとしたテンポで通して演奏する。 ■各自タブレット端末のデジタル教材を使って、自分の苦手な箇所を練習する。	・「さくらさくら」初級 - 「みわたすかぎり」 ・「さくらさくら」初級 - 「はなざかり」 ・いろいろな奏法 - コロリン ・「さくらさくら」初級 - 1曲通して弾いてみよう ・児童任意の項目	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。 ★一面の箏を複数の児童で使用させている場合、箏を演奏していない児童には唱歌を歌わせる。 ★各自のタブレット端末を見ながら練習。
まとめ5分	■「さくらさくら」初級を通して演奏する。 ■ワークシートに今日の授業の自己評価と課題を記入する。	・「さくらさくら」初級 - 1曲通して弾いてみようの「練習」画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。

第四時

- ・学習内容：模範演奏と自身の演奏とを聴き比べ、表現の工夫をする。その後、グループ内で発表・評価し合う。
- ・めあて：より良い音色やひびきを出すための工夫をしながら、「さくらさくら」を演奏しよう
- ・配布物：ワークシート「ことに親しもう 3」（ファイル名：k01_sheet3）

過程		主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
45分	導入 5分	■本時の学習のめあてを確認する。 より良い音色やひびきを出すための工夫をしながら、 「さくらさくら」を演奏しよう ■復習として「さくらさくら」初級を1曲通して演奏する。	・「さくらさくら」初級 - 1曲通して弾いてみようの「練習」画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
	展開 35分	■「さくらさくら」初級の模範演奏を鑑賞し、自身の演奏と聴き比べ気付いたことをワークシートに記入する。 ■模範演奏のような華らしい音色に近づけるために、個人練習を通じて表現の工夫をする。 ■グループ内で「さくらさくら」初級を発表し合う。 ■ワークシートに他の児童の演奏について良かった点・改善すべき点を記入する。	・「さくらさくら」初級 - 1曲通して弾いてみようの練習画面 ・児童任意の項目	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。 ★各自のタブレット端末を見ながら個人練習。
	まとめ 5分	■ワークシートに筆授業全体の自己評価と感想を記入する。		



パッと
なっとく
もっと
ワクワク

「Smart Education System by Yamaha」のWebサイトでは授業づくりに役立つ授業モデルや掛図などの素材を無料でダウンロードできます。ブラウザで動作するデジタル教材の無料体験版もご用意しておりますので、お気軽に授業でお試しいただけます。ぜひご活用ください。

無料の
授業モデルやデジタル素材を
もっと活用
してみませんか？

「Smart Education System by Yamaha」のWebサイトはこちら！

yamaha ses

検索

<https://ses.yamaha.com/>

「Smart Education System by Yamaha」のお役立ちコンテンツ

新型コロナウイルス感染
拡大防止に配慮した
音楽の授業って…？

学校の新しい生活様式における
音楽授業や行事のアイデアは
こちらでご紹介しています。



音楽の指導でお悩みごと
はありませんか？

先生方のお悩み解決の
ヒントはこちらでご紹介
しています。

